

事業評価シート（平成27年度分）

1. 事業の位置付け

事務事業名	下水道ポンプ場耐震長寿命化対策事業		
事業担当	土木部 下水道整備課		
事業種類	●ハード ○ソフト		
総合計画の位置付け	'03	基本目標3 人と自然が調和した、やすらぎのあるまち	
	'02	②〈住みごこち〉人にやさしい居住空間をつくる	
	'02	2 身近な生活環境を充実する	
根拠法令等	下水道法		
対象・受益者	市民	事業期間	
委託、協働	【委託： 3セク・財団 ○企業 NPO その他】【協働： 】		
目的・目標		事業の概要	
災害時において道路や下水道の機能が保持されるとともに、維持管理のためのコスト削減が図られています。		安定した下水道ポンプ場の運用を図るため、機械・電気設備の長寿命化及び施設の耐震化を実施します。	

2. 事業の検証

活動指標①	指標名				単位	
	説明・算定式					
		平成25年度	平成26年度	平成27年度		
	目標					
	実績					
活動指標②	指標名				単位	
	説明・算定式					
		平成25年度	平成26年度	平成27年度		
	目標					
	実績					
成果指標①	指標名	東部ポンプ場耐震長寿命化対策事業の進捗率(平成26年度から)			単位	%
	説明・算定式	工事完了を100%とした進捗率。設計2%、建物耐震化20%、機械設備長寿命化74%、電気設備長寿命化4%				
		平成25年度	平成26年度	平成27年度		
	目標		2	38		
	実績		2			
成果指標②	指標名				単位	
	説明・算定式					
		平成25年度	平成26年度	平成27年度		
	目標					
	実績					
進捗状況	③：遅れている					
	遅れている理由	耐震診断の基準となる指針の改定が遅れたため。				
平成27年度の主な取組と成果						
東部ポンプ場の耐震、対津波診断調査を行いました。						
平成27年度の検証結果	C：十分に成果をあげることができなかった					

項目	分析の視点	左記の視点に関する分析・課題の抽出	総合評価	
事業分析	必要性	<input type="checkbox"/> 市民ニーズ <input checked="" type="checkbox"/> 事業目的の達成状況 <input type="checkbox"/> 市の関与の必要性 <input type="checkbox"/> その他	下水道機能を安定的に維持していくために、東部ポンプ場の耐震化・長寿命化を図ることが必要です。	<input checked="" type="radio"/> 高 <input type="radio"/> 低
	有効性	<input type="checkbox"/> 上位施策への貢献 <input type="checkbox"/> 市民満足度を高める方策 <input checked="" type="checkbox"/> 継続による成果向上の可能性 <input type="checkbox"/> その他	東部ポンプ場は、JR平塚駅周辺の都市機能が発達した合流区域を抱えた非常に重要なポンプ場であり、耐震化及び長寿命化対策を実施することにより、予防保全的に下水道機能を確保することが可能となります。	<input checked="" type="radio"/> 高 <input type="radio"/> 低
	妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の目的、対象、内容 <input type="checkbox"/> 受益者負担、補助額 <input type="checkbox"/> 業務の執行体制(人員配置、業務分担) <input type="checkbox"/> その他	下水道事業は公共性の高い事業で、市が関与することは妥当です。	<input checked="" type="radio"/> 高 <input type="radio"/> 中 <input type="radio"/> 低
	効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 業務プロセス改善による効率化の方策 <input type="checkbox"/> コスト削減の可能性 <input type="checkbox"/> 事業手法(民活の余地、事業形態の検討) <input type="checkbox"/> その他	長寿命化対策と同時に耐震化を図ることで、対策工事が効率的に実施可能となります。また、施設の健全化及び延命化を図ることによりライフサイクルコストの低減が見込まれます。	<input checked="" type="radio"/> 高 <input type="radio"/> 中 <input type="radio"/> 低
今後に向けた課題の分析 ポンプ場のストックを将来にわたって適切に維持管理し、下水道のサービス水準を維持するためには、東部ポンプ場以外の本市が管理するポンプ場(10箇所)についても、長寿命化及び総合地震対策計画の策定を検討する必要があります。				

3. 年度別事業内容・決算額

(単位:千円)

		平成25年度 決算額	平成26年度 決算額	平成27年度 決算額
事業内容			実施設計	耐震・長寿命化対策工事
財源内訳	国庫支出金	0	6,500	0
	県支出金	0	0	0
	起債	0	9,000	0
	その他 特財	0	0	0
	一般財源	0	117	0
事業費 (A)		0	15,617	0
執行率 (%)		—	97.61	0.00

4. 今後の事業展開(担当課としての提案)

平成29年度の取組方針 東部ポンプ場の長寿命化及び総合地震対策計画に基づき、汚水及び雨水ポンプの長寿命化等を図ります。
課長コメント 東部ポンプ場のライフサイクルコストの縮減を図るため、計画に基づき、着実に事業を進めます。